

議会だより



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。

～“まち”の動きがよく分かる!～

おいしいお米にな
れはやく食べたいな!



通年議会 第1回・第2回会議

正副議長就任のご挨拶	2
議員紹介・議会構成	3～6
一般質問	8～16
議員活動報告	19

正副議長就任のご挨拶



あさぎり町議会議長
こみ た かずゆき
小見田 和行

町民の皆様には町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、この度の改選に伴い第9代議長に就任させて頂きいただきました。第二庁舎へ移転しました真新しい議場でのスタートということもあり、議会の長として責任の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、今般の議員選挙は、初めての無投票とな



あさぎり町議会副議長
な が い えいじ
永井 英治

このたび、副議長という大役を担わせて頂く事となり、身に余る光栄と感激すると共に、その重責に身の引き締まる思いでございます。

さて、去る4月の町議会議員選挙におきましては、あさぎり町では初めての無投票となりました。議員のなり手不足は全国的な課題とは言いますが、議会の存在意義や役割、または議

りました。住民自治を担う議員のなり手不足は地方自治の危機であり、早急な原因の調査と対策を講じなければ、町民の皆様の生活にも影響が及ぶ事が懸念されます。その対策のひとつとして「地方自治の未来を創る調査特別委員会」が設置されました。議会ばかりの問題でなく、町民の皆様と協働により「あさぎり町の未来の自治」を創造します。

私達議会は町民の皆様の多様化、変化するニーズを的確に把握し政策提言を行う使命があります。少子高齢化に伴う諸問題、県北県南の経済格差等、課題山積のなか執行部と連携し町民全体の福祉向上と町政発展の為に誠心誠意努めてまいりる所存でございます。

今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会の活動状況が町民の皆様に分かりにくい等の様々な課題を真摯に受け止めながらも、議会の本質であります、合議制の住民の代表機関としての役割を十分に果たせるよう努力していく所存です。

今年5月に完成した第二庁舎の議場は、災害時には災害対策本部に変わる機能を備えています。この新しい議場に相応しい議会になるように、町民の皆様幅広いニーズにお応えするべく、議長を補佐しながら副議長の職責を果たしていきたいと考えております。今後とも町民の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。





1 こまつ えいち 小松 英一 議員

新人議員として、自分なりの視点で新たな住民サービスの提供や改善などの提案をします。具体的には、健全な財政運営も視野に入れながら、地域の担い手である働く世代の定住対策や子ども・子育て支援、高齢者や障がい者福祉の充実などです。また、県南の地域振興などに関する人吉球磨地域の一体的な取り組みを推進することも喫緊の課題です。町民の皆様のご意見をいただきながらこれらの課題に真摯に取り組んでまいります。

2 かとう ひろし 加藤 弘 議員

私は、あさぎり町役場退職後、熊本県球磨地域振興局、人吉市社会福祉協議会、人吉市役所、あさぎり町副町長と行政の仕事に携わってきました。そして、この度、初めて議席を与えていただきました。現在、あさぎり町におきましても大変厳しい時代に突入しています。高齢化、人口減少、働き手不足や諸経費の高騰などによる生活、産業の問題など多くの難題を抱えています。早急に諸問題の解決に真剣に取り組んでまいります。



3 こたに せつお 小谷 節雄 議員

この度2期目の議席を与えて頂いた立場となり改めて再確認したことは、議員活動での判断基準を、「地域間・世代間・業種間・男女間等での均衡を図ること」においていくということですが、更にそれに加えて、「子供の声が聞こえる地域コミュニティの維持など持続可能なまちづくり」を最大限重視してまいりたいと思います。

消滅可能性自治体などという言葉が現実味を帯びることが無いよう、ひとつ一つの課題に誠実に対応して参りたいと、決意を新たにしているところです。



4 いわもと やすのり 岩本 恭典 議員

新たな議場と新たなメンバーで議会がスタートしました。私は常に「初心を忘れず」、皆様からの声に真摯に向き合い、実現が難しいと思われる課題に対して、その理由や可能な方策について透明かつ素直にお伝えする事を心掛けています。

また、特に【議会の活性化と透明化】を図ることにも力を入れ住民の皆様信頼される政治を目指し、地域の発展と住民の皆様の生活向上のため、全力を尽くして参ります。





5 ^{なんば} 難波 ^{あやみ} 文美 議員

あさぎり町始まって以来の無投票選挙という結果、57歳にして最年少議員という現実を重く受け止め、議会活動の透明性と地域の皆様の声を発信していく重要性をひしひしと感じています。

『あさぎり町に明るい明日を!』

3期目も、私たちの生活を取り巻く様々な課題に真摯に向き合い全ての世代の皆様と共に力強く前進できる町づくりに全力で取り組みます。Always Better Together!

6 ^{かがやま} 加賀山 ^{みつこ} 瑞津子 議員

「皆さまと共に未来へ」

49歳で議員への道を志し、今期で4期目となります。前期では議会選出の監査委員に任命いただき、町の財政についても深く関わる事が出来ました。今期は厚生文教委員長として、子どもからお年寄りの方までの全ての福祉・教育にも、しっかり取り組んでまいります。あさぎり町の発展の為に、広く球磨人吉、熊本全体へも目を向け広域で協力しながら、活動を深めていきたいと思ひます。



7 ^{はしもと} 橋本 ^{まこと} 誠 議員

「皆さまの声と、思いを町政に」をスローガンに掲げ目の前の課題と向きあい、地域をつなげ将来を担う人づくりに積極的に取り組みます。5年・10年後の先を見据えて安心できる町づくりと地域防災力向上に努めてまいります。町民の代表としての自覚を忘れず全ての事柄に対して“誠実に”真摯に取り組んでいきます。



8 ^{もりおか} 森岡 ^{つとむ} 勉 議員

健全財政運営と人づくりを町づくりの基本とし、地域格差のない発展に努めます。

議会は住民の縮図です。住民の方々への説明と理解を得ることが大事であります。民意が集う町と明るい町を目指すパイプ役に徹し住民の皆さんの安心・安全な暮らしに資するため、専心誠意活動して参ります。





9 ^{とよなが} 豊永 ^{きいち} 喜一 議員

合併して20年が経過しましたが、人口減少の波は大きく、その他にも課題は山積しています。今回の無投票当選、大変重く受けとめており、議員のなり手不足解消にも努力していきたいと思います。覚悟と責任を持って、是々非々の立場を貫き、原点にたち帰り、住民の皆さんの声を大事に誠心誠意、熱意を持って住民福祉の向上に努めていきます。今後とも宜しくお願い致します。

10 ^{やまぐち} 山口 ^{かずゆき} 和幸 議員

子どもたちが、大きな「夢」と「希望」を持ち育つ
お父さん・お母さん大人たちが「笑顔」で生き生き輝く
おじいちゃん・おばあちゃんが、穏やかに「安心」して暮らせる
そんな「あさぎり町」をみんなで創りましょう



11 ^{みなごし} 皆越 ^こ てる子 議員

新型コロナウイルス感染症が、5類に分類され、ようやく以前の生活環境を取り戻し、町の計画も実践へ向けて動き始めたように感じることができます。

今期のスローガンは「みんなでつくる明日のあさぎり町」を掲げ合併特例債を活用しての庁舎解体後の跡地の利活用等々。民間組織「人口戦略会議」によると多くの自治体で人口減少が深刻化しているので、あさぎり町においても地域で安心して暮らせる持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。



12 ^{みぞぐち} 溝口 ^{みねお} 峰男 議員

4年間の議員活動が、町民の皆様にとどの様に評価されているのかそれを知る唯一の手段が選挙であると信じ「がむしゃら」に活動して参りましたが、今回初めて経験した無投票選挙は大変残念でなりません。私が初めて議員選挙に挑戦したのは31歳でした。若さゆえの無謀な挑戦でしたが、次回の選挙は、無投票にならない様に、その原因と打開策をしっかり議論し若い人が積極的に政治参加できる環境づくりに取り組んで参ります。



常任委員会・一部事務組合構成

総務建設経済常任委員会

委員長 皆越てる子
副委員長 山口 和幸
委員 加藤 弘
委員 難波 文美
委員 橋本 誠
委員 森岡 勉
委員 小見田和行

厚生文教常任委員会

委員長 加賀山瑞津子
副委員長 溝口 峰男
委員 小松 英一
委員 小谷 節雄
委員 岩本 恭典
委員 豊永 喜一
委員 永井 英治

議会運営委員会

委員長 山口 和幸
副委員長 豊永 喜一
委員 加賀山瑞津子
委員 森岡 勉
委員 皆越てる子
委員 溝口 峰男

広報調査特別委員会

委員長 橋本 誠
副委員長 岩本 恭典
委員 小松 英一
委員 加藤 弘
委員 小谷 節雄
委員 皆越てる子

監査委員

議会選出 難波 文美

公共施設マネジメント調査特別委員会

委員長 小谷 節雄
副委員長 加藤 弘

地方自治の未来を創る調査特別委員会

委員長 豊永 喜一
副委員長 岩本 恭典

※公共施設マネジメント調査及び地方自治の未来を創る調査特別委員会の委員は、議長を除く全員

公立多良木病院企業団議会議員

小松 英一 加藤 弘
小谷 節雄 豊永 喜一
溝口 峰男

人吉球磨広域行政組合議会議員

山口 和幸 皆越てる子

上球磨消防組合議会議員

岩本 恭典 橋本 誠
森岡 勉

後期高齢者医療広域連合議会議員

加賀山瑞津子



第2回 議会

人事案件

■同意第2号

あさぎり町教育長の任命同意について

あさぎり町（岡原） 椎葉 勇二

■同意第3号～第7号

あさぎり町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について

あさぎり町（上） 藤川 友行

あさぎり町（免田） 荒木 昭二

あさぎり町（岡原） 富田 道孝

あさぎり町（須恵） 佐藤 祐恵

あさぎり町（深田） 白柿 耕一

全件
同意



歳入・歳出それぞれ
2億4,539万6千円を追加し

総額 **125億281万円**

主なものとして

旧須恵庁舎別館改修設計委託料

269万3千円

定額減税調整給付金

1億1,886万2千円

価格高騰に伴う低所得世帯支援事業費

3,222万1千円

チャットGPT導入ソフトウェア使用料

69万3千円

コロナワクチン定期接種事業費

5,200万4千円

審議内容抜粋

問 森園サッカー場を駐車場にして催事が行われたという話は事実か。事実であるならば今後も許可されるのか。

答 施設の一部であっても適切に使用されていない状況があったらいけないので、今後しっかりと事前の協議をしていく。

問 定額減税の調整給付金支給事務について、いつまでを目標に事務を進めようとしているのか。また、それだけの方々を対象としているのか。

答 目標としては秋頃から年内をめどに計画をしている。給付金の対象者としては3,000人前後になるのではないかと。

問 町の意思決定過程での生成AIの活用履歴は、事後検証のためにも残すべきではないか。

答 資料作成時に生成AIを活用したことをその資料中に残さなければならぬというところは現時点では想定していない。

問 農事組合法人に対するの関わり方や支援について、町としてどのように考えているか。

答 計画を精査した上で具体的に何が必要なのか、町として何が支援できるのか検討をしたいと考えている。

条例改正

◆議案第1号 救護施設しらがね寮移譲先候補者選定委員会設置条例の制定について
救護施設しらがね寮移譲先候補者を選定するため

◆議案第2号 あさぎり町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴うもの

問 今回の改正により住民の立場から何か変わる要素があるのか。

答 上位法令の改正によるもので特に新たに何か制定されるものではない。

問 利用特定個人情報情報というのは国が利用する側なのか、それとも我々住民が利用するという意味なのか。

答 個人ではなく行政機関が利用するもの。

◆議案第4号 あさぎり町重度心身障がい者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
入院における自己負担金を2,040円から2,000円に、入院以外の自己負担金1,020円を1,000円に改正するもの

◆議案第5号 あさぎり町下水道条例の一部を改正する条例の制定について
責任技術者を専属する者から選任する者に直すとともに、同一の都道府県の区域内における営業所について兼任することを妨げないこととする



医療用ウィッグ購入の助成は



みなごし
皆越 てる子 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問 令和5年12月定例会でも一般質問をしているが、町民の方より加療による後遺症についての問い合わせがあり、再度質問に及んだ。6月3日、総務課長より全員協議会でその後の検討内容が示された。内容は事業実施自治体調査を行い、県内4町村が実施しており、本町でも取り組む必要があると考える。今後は医療用ウィッグのほかに胸部補正等も視野に入れ、令和7年度から事業実施できるような要綱の整備を行うということであった。広報あさぎり6月号の町の保健室女性のがん検診についての記事の中で熊本県女性の部位別1位が乳癌・2位大腸・3位肺・4位子宮・5位胃という事だが、町の検診受診率は。

健康推進課長

乳がん検診では、令和5年度が41・5%となり令和元年度の36・3%から伸びている。

問

県の目標値が55%だが、本町の受診率を上げるための周知については。

健康推進課長

広報紙を活用して集団検診を率先して受けていただくよう広報活動をしている。



町民の方が着用している医療用ウィッグ

問

受診率の向上に努めていただきたい。令和6年5月30日熊日新聞掲載で、「熊本市は6月よりケアに必要なウィッグや乳房補正具の助成事業の受付を始める。」という事だが。

副町長

社会的、社会参加のためには必要というふうに認識している。熊本市が始めるといいう事になると、町としても推進すべき事業、対策であると認識している。

町長

患者さんの肉体的な負担、心理的な負担を幾らかでも軽減できるかという事で、早急に対応する必要は感じている。



独居高齢者対策について

問

独居高齢者世帯数は。

町民課長

高齢者は65歳からで1,020世帯(令和6年5月31日現在)

問

孤独死孤立死の現状は。

高齢福祉課長

独居の方が亡くなられた場合、すべての方が孤立死・孤独死という定義ではなく、現状把握もできていない。

問

高齢者を見守る取り組みの現状は。

高齢福祉課長

様々な取り組みを行っているが、マップづくり等での地域力強化に力を入れていきたい。



みぞぐち みねお
溝口 峰男 議員

防災集団移転促進事業の活用は

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

町内に防災集団移転促進事業に該当する地域はどれだけあるのか。

町長

現在も災害復旧工事を継続している皆越地区がまさに考えられる地域だと思っている。



公民分館、自主避難所として
利用されている旧皆越分校

問

旧皆越分校は公民分館・避難所として使用しているの残してほしいとの要望もあったが、解体の方針が示された。一番の危険地帯である皆越地区民の命を守るには、集団移転しか方法がないのではないか。

町長

地域の合意形成が重要なので、集団移転の対象となりうる世帯の把握や概算事業費の検討が必要となる。今後は、一軒一軒を回って聞き取り調査を行うことが最初の段階と感じている。

町内全地域からデマンドタクシーで公立多良木病院に行けるように

問

町長は、公平・公正な町づくりを公約に掲げておられる。町内全地域からデマンドタクシーで公立多良木病院まで行けるようにするべきではないか。

町長

上・免田・深田地区からは直に公立多良木病院に行けないので、議員が提案された築地区のコスモスから公立多良木病院までのタクシー料金を町

が補助する方法も含めて実証実験をやってみようと思っている。

町産材の支給を拡大し区民の負担軽減を

問

公民分館建設は今日の物価高騰で1割負担といえども区民の負担は増している。公民分館建設に町産材の支給を要望し令和2年度から主要構造材の柱のみの支給が実施されているが、森林環境譲与税を活用して、柱以外の木材にも拡大できないか。

農林振興課長

町産材・地域産材支給要綱は町産材の需要拡大等を目的としている。目的に沿ったところで要綱の改正が必要であれば改正をして、いけるのかと考えている。

米粉粉碎機をあさぎり商社に設置を

問

小麦粉の代替えとして米粉の需要が増している。米粉粉碎机をあさぎり商社に設置して、米粉の普及を図り新たな商品開発を検討できないか。

町長

ふるさと納税返礼品も含めて、幅広く商品開発に活用できるように製粉機の導入等も考えていきたい。



ボランティア活動 ポイント制度の取り組みは



とよなが きいち
豊永 喜一 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問

ボランティア活動は、個人の自発的な意思に基づく自主的な活動であり、活動者個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、社会においては、その活動の拡がりによって社会貢献、福祉活動等への関心が高まり、様々な構成員がともに支え合い交流する地域社会づくりが進むなど大きな意義を持つ。ボランティア活動の種類、手段、方法等は多種多様であるが、地区の民生児童委員の協力を仰いで、健康ポイント制度のような取り組みが出来ないか。町のキャッチフレーズである「人が集い 支え合う 未来へつなぐあさぎり町」に少しでもつながるのではないか。

町長

ボランティア活動は社会貢献や地域づくりに

おいて大きな意義を持っていると感じている。本町でも様々なボランティア活動の取り組みに感謝している。基本構想の10年後のありたい姿、「人が集い 支え合う 未来へつなぐあさぎり町」の実現に向けて、今後のポイント制度などの取り組みについては関係課と協議を進めていく。



令和6年産大麦の不作対策は

問

町の基幹産業である農業は、農薬肥料、飼料、資材等の高騰で厳しい経営状況が続いている。令和6年産大麦は、生育面では播種以降順調に推移していたが、3月初旬の霜害と凍害、4月は雨が続いて湿害も見られ、平年に比べここ5年間で収量・品質とも不作が見込まれてい

る。農家の負担軽減のためにも、ライスセンター利用料等の助成が出来ないか。

農林振興課長

今回不作ということでは経営所得安定対策の数量払の交付は厳しいものがあるかと把握しているが、麦の不作に対しては、国の収入減少補填緩和交付金 農作物共済の対象になると考えている。助成が出来るか再度検討したい。



大麦の収穫風景



就任後の所信表明の進捗は

かとう ひろし
加藤 弘 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画をご覧になれます。



問 給食費、保育料の無償化及び子ども医療費の助成事業の改善は。

町長

給食費の助成については、令和6年度2分の1として、令和7年度を目標に無償化を目指したい。保育料については、今後検討する。子ども医療費の窓口負担は令和6年1月からなくしている。

教育課長

給食費については、交付金を充当して助成している。

問

農業において高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加し、地域の治水や環境システム維持といった多面的な役割を果たせなくなってきた。地域産業の維持継続が出来るための対策は。

町長

担い手、人手不足に対応するため、農地の集約スマート農業の推進、法

人化、6次産業化への取り組みに支援をしていく。

問

農業において高齢化や後継者不足の対策に、以前は農業機械の補助が認定農業者以外も対象になっていたが現在は対象になっていないので危惧されている。その必要性は。

農林振興課長

令和6年5月29日、農政の憲法といわれる食糧農業農村基本法の改正がなされた。担い手以外の多様な農業者の役割という文言が盛り込まれた。これまでの国の政策において方針転換がなされるものと考えている。詳細についてはこれからなる。



耕作放棄地

問 町の産業を維持源についてどのように捉えているか。

町長

100〜110億円が財政規模かなと感じている。

財政課長

財政健全化の判断について、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質交際費比率、将来負担比率いずれも健全である。

問

過疎地域は燃料費等過疎地域以外と比較して多くの経費が必要となる。これらの支援として過疎地域であるが故に交付される交付金を財源として、過疎脱却のため支援はできないか。

町長

国県の補助金などの特定財源の確保や予算編成による施策の選択と集中、基金の確保などにより一般財源を確保して取り組んでいきたい。

問

木村知事が立候補の際、TSMCの進出効果を波及させるため連携を徹底して進めることのであったが、このことについて、郡市での活動は。

町長

そういう活動は起きていない。今、木村知事のほうで、市町村との連携強化ということで、「地域未来創造会議」というものを立ち上げている。

問

高速道路、沿岸球磨地域から熊本方面に通じる幹線道路が必要と思うが、郡市で協議等がされているか尋ねる。

町長

協議はされていない。

他の質問

- 高齢者が元気になるまちづくりについて。
- 災害に強い生活基盤や、地域防災力の向上について。
- 新規就農者、起業家への支援及び農業支援センターの拡充について。

出水期を迎えるにあたっての町防災は



はしもと まこと
橋本 誠 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問

能登半島地震
愛媛・高知県地震

が発生しており、南海トラフ地震に関する備えに注目が集まっている。人吉球磨においても人吉盆地南縁断層と深田の新深田断層があり、いつ発生してもおかしくない状況である。出水期に発生した場合、現在の町の防災の考え方と、自主防災組織として活動しているところの数は。

町長

本町でも南海トラフ地震、人吉盆地南縁断層地震など大規模災害が懸念されている。町の防災の取組については、関係機関との連携により防災意識の啓発そして防災訓練等を行い、地域防災力の向上を図っている。

総務課長

自主防災組織は、全ての行政区で設立されている。

問

支えあいマップ作成の現状は。

総務課長

支えあいマップを作成完了した地区は、全部で13地区。上地区が6地区、免田地区が3地区、岡原地区が3地区、須恵地区が1つ。

問

未作成地区の働きかけを今後どのようにしていくのか。

総務課長

区長会でのマップ作りの紹介と、広報あさぎり7月号の中で、支えあいマップと防災マップの作成の取組についての記事を載せる予定。

問

現在、地区防災計画書の作成をしている地区は。

総務課長

防災会議で承認している防災計画作成地区は8地区。

問

一番肝心なのは当事者意識をいかにつけたせるか。特に高齢者に対する意識づけが大事故だ。

総務課長

気象状況等を把握しながら、早め早めの避難をあらゆる形で発信していく。

問

町内の指定避難所は、大雨・地震に対する危険性はないのか。

総務課長

指定避難所は、浸水想定区域、土砂災害警戒区域を含まない公共施設を指定している。地震が発生した場合、まず職員が行って安全確認を行い、危険のない指定避難所のみを開設する。

問

防災に対しての人員を増やす計画は。

町長

現時点では、今の状況で進めていきたい。



防災避難マップの作成



学校給食費と保育料の無償化は

こまつ えいいち
小松 英一 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



あさぎり町の学校給食

問 町長の選挙公約に完全無償化を掲げておられるが、どちらも実行されていないことについての町長見解を問う。

町長

給食費については令和5年度から国の交付金を活用して半額助成を実施している。両方を無償化することは町の経常的な支出になるので、国の少子化対策等も含めて財源を確保しながら段階的に実施し、給食費については7年度から完全無償化にしたいと考えている。

問

子育て施策は今展開しないと誰もいなくなってしまうってか

らでは手遅れになる。支援をすべき子どもたちがいてくれるから大人たちも頑張れる。町の財源が厳しいからできないではなくて、将来の町を担う人たちを育て上げていくための先行投資だと考えておられる保護者の声に答えて今年度の補正予算で無償化の前倒しをお願いしたい。

町長

一般財源の動向や財調基金などを組み合わせて考え、検討させていただきたい。

介護保険料の推移と今後の見通しは

問

65歳以上の1号被保険者の保険料や全体のサービス給付量の推移を尋ねる。

高齢福祉課長

保険料は制度開始時から約2倍の6,100円となっていて、将来的にはまだ上昇していくと見込まれている。また、特別養護老人ホーム入所待機者は令和4年度で約80名おられる。

デマンド交通の運用は

問

デマンドタクシーで町内全域から公立多良木病院まで片道300円で行けるようにできないか。また、高齢者や障がい者の方々ももう少し利用しやすくなるよう乗降場に関する緩やかな判断をできるように検討してもらいたい。

町長

デマンド交通については不公平感を感じた部分でもある。乗降場の問題についても委託業者と協議をしたい。

他の質問

●TSMCの進出に関連する県南地域への経済波及に関する広域的な取り組みについて



デマンド交通の乗降場



地域おこし協力隊の活動状況と問題点は



いわもと やすのり
岩本 恭典 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問 地域おこし協力隊のそれぞれの活動について具体的な成果と課題は。

企画政策課長

アロットの施設の運営や関係人口の創出に向けた業務に携わっており、4月に開催した2つのイベントに31名、5月のイベントに135名の参加があつている。

商工観光課長

農家や生産事業者の訪問やヒアリング、イベント出展を実施し、天子の水花菖蒲祭りにも出店している。課題は空き家対策で、今後一緒に何らかの手だてができればと考えている。

健康推進課長

健康運動教室の参加者の疑問点解消や精神的支援を丁寧に行い、好評を

得ている。成果の可視化は難しいが、指導員と職員の負担は軽減されている。

生活福祉課長

社会福祉協議会に勤務しており、地域密着で多様な支援を行いながら資格取得に向けて勉強中、今後も継続して勤務して頂ければと考えている。

あさぎり町のデジタル化への取り組みは



問 あさぎり町のデジタル化に対する歳費とその割合は、この5年間どう変化しているか。

財政課長

歳費の総額の把握は難しいが、令和4年度からデジタル政策審議監受入れやテレワーク施設整備、令和5年度から地域DX推進計画策定や光ブロードバンド整備により年々増加している。

問 KPI（※1）や投資利益率（※2）を利用して経費を把握することが、今後の行財政改革の中で必要と考えるが。

財政課長

時間が限られていたため歳出の合計は把握していないが、今後検討していきたい。

問 町長がイメージする未来のあさぎり町のデジタル社会は。

町長

住民の利便性が向上しないと意味がない。少子高齢化のなかで、福祉部門など人手が必要な場所には人を配置し、他はデジタル化でメリハリのあつた人の配置になってくる。

※1 KPI（重要業績評価指標）とは
目標達成の度合いを評価するための指標
※2 投資利益率とは
投資額に対する利益の割合を示す指標



現在活躍中の地域おこし協力隊のみなさん

- ・商工観光課所管4人、健康推進課所管3人（あさぎり商社で活動）
- ・生活福祉課所管1人（社会福祉協議会で活動）
- ・企画政策課所管2人（アロット施設運営、関係人口の創出に向けた業務）



全ての子どもへの 学習費助成は

かがやま みつこ
加賀山 瑞津子 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

町の将来にとつての子ども・子育てへの取り組みはより重要な課題でもある。文部科学省の子どもの学習費調査では、公立小学校6年間で約63万円、公立中学校3年間で約51万円の保護者負担が発生するとある。今後の助成の検討については。

町長

小学校の入学時にはランドセルや体操服、中学校では、制服、バッグ自転車等の多くの準備物が必要となり、部活動費も含めると相当な費用がかかっていると承知している。現時点では援助を必要としている児童・生徒の保護者に対して就学援助制度を設けて支援しているところ。

教育課長

就学援助の内容としては、学用品費、修学旅行



不測の事態への備えを

問

経済的負担の増大・家庭の財政圧迫・社会全体の問題等がある。コロナ感染症蔓延

町長

まずは給食費の無償化、保育料について考えていく。

の影響で所得の激減時に、就学援助制度が活用できた。しかしコロナ終息後、収入がアップし所得が2、3万円多くなった為に制度に該当しなくなったとの声も聴いている。教育学習費の財源の事もあるが全ての子ども達に対して取り組めないか。

防災用食料備蓄品の管理と配置は

問 町管理の期限間近の食品の取り扱いは。

総務課長

賞味期限もあるため自主防災組織の訓練時等に提供している。

問

防災用食品を公民館へ配置できないか。

総務課長

地区の運営助成金を自主防災に要する助成として平成27年度から1万円上乗せして4万円にした。各地区の備蓄品の準備に活用していただきたい。



部活動費等での保護者の負担の増加

脱プラスチックと廃棄物分別がもたらす住民負担の対処は



2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

なんば あやみ
難波 文美 議員

問

今年度4月から10市町村の小・中学校給食に提供される牛乳パックのストローが廃止された。プラスチックごみの削減効果を狙った取り組みだが、紙パック直飲みにも抵抗感を持つ児童生徒もいる。家庭では直飲みはしないように躾けるが、学校では推進をしている状況は一般的な理解が得られないのではないか。上手に紙パックを開けられない場合何度も飲み口に触れることは不衛生生きわまりない。環境問題の一助とするために『食育のマナー』が変えられていくが小・中学校の現状は。

教育長

4月現在で児童生徒と職員合計で1,333食を提供している。平成29年4月にビンから紙パックの牛乳に移行し乳糖不耐症の対象者には

牛乳の停止措置として1食あたり約61円を還付している。

教育長

直飲みについては各家庭に連絡をしておりストローを持参する子供もいる。

町長

今の段階で苦情はなく子供たちも慣れてきたと聞いている。

問

各地区で容器や包装プラスチックごみの分別に取り組みられているが、ごみ収集所の施設によって収集日家で自宅でプラごみを保管しておく所もあり、負担感や不公平感を持たれている。また廃棄プラスチックの回収頻度は月に1回となっているが回数を増やすことはできないか。

町民課長

53行政区のうち4行政区がごみ収集日の前日または当日に解錠をしている状況である。回収頻度は委託契約の締結により今年度の変更はできないので、来年度に向けて回収方法も含めて検討する。

問

あさぎり町と山江村を除いた全ての郡内町村は生ごみ処理機の購入費用を助成しているがなぜ実施しないのか。

町民課長

平成15年から16年にかけて補助事業を行った



すぐに満タンになる
廃プラの回収袋

問

燃えるゴミとして廃棄する生ゴミは悪臭や獣に漁られるなど問題がある。人口増加を目指す以上、住民のQOL(生活の質)を高めるためにも補助事業は必要ではないか。

町長

20年前とは住宅事情も変化し、状況が変わってきているので協議を進め検討する。

総務建設経済常任委員会

○令和6年5月28日（火）

（商工観光課）

令和6年度一般会計補正予算（第1号）

商工総務費

地域おこし協力隊活動支援委託料

総務省要綱の一部改正に伴い報償費等

280万円が320万円に引き上げ

地域イベント補助金

令和6年2月に地域おこし協力隊が中

心となり、関係人口・交流人口の増加

を目的として設立された「あさざりく

厚生文教常任委員会

○5月28日（火）

所管事務調査では、13の内容について審議を行った。

主なものについて

（生活福祉課）

救護施設「しらがね寮」の移譲先候補者選定委員会設置条例の制定について

問 利用者への説明・移譲においての有償無償の判断について。

答 引き続き協議する。

らしLabo」が取り組むイベント等の事業費

1,529,940円

県の夢チャレンジ補助金

1,147,000円

町の負担

383,000円

問 地域おこし協力隊が移住・定住につながる施策支援を行って頂きたい。

答 地域おこし協力隊の活動が地方創生に資する取り組みとなり、移住・定住にもつなげたい。

（教育委員会）

あさざり町公民分館施設整備費補助規則の一部改正について

問 補助額の限度額の項目を削除した場合事業費の判断基準をどうするのか。

答 以前作成した3パターンの案を基準として区と町とでしっかり協議していく。

（健康推進課）

熱中症対策について

問 指定暑熱避難施設への移動が難しい高齢者の為に公民分館を指定できないか。

答 現段階では避難者数・発令回数もわからない状況なので様子を見ていく。今後要望が多ければ各区と運営等について協議する必要がある。

令和6年度 全国町村議会議長副議長研修会報告

5月21日、東京国際フォーラムにおいて全国町村議会議長・副議長研修が行われ参加した。

①「議員のなり手不足は『住民自治の危機』その打開の道を探る」

町村議会議長のなり手不足対策検討会委員長（大正大学教授）江藤 俊昭 氏

②「ハラスメントー自治体議員が注意すべきポイントー」

弁護士（元流山市政策法務室長）帖佐 直美氏

③「将来の地方議会を担うのは誰か？ー若者、女性、勤労者が参画する地方議会の実現ー」

慶應義塾大学法学部政治学教授 谷口 尚子氏

すべての演題が、正に今の議会の課題であり、有意義な研修であった。今後、活かしたい。5月22日、ホテルグランドアーク半蔵門において、県関係国会議員への要望と意見交換がなされた。

（小見田 和行）



講演を行う江藤俊昭氏



球磨郡提出の要望を行う黒木正照相良村議長

人吉球磨広域行政組合議会

○5月30日（木）

あさぎり町議会改選により、新たに選出された山口和幸議員の議席を22番、皆越てる子議員の議席を23番に議長より指定された。議会運営委員会の選出では、欠員となつている1名を上球磨地区の議員から選出され、13番杉野貴文議員（水上村）が議長から指名された。議会委運営委員長には20番田代利一（球磨村）議員が任命された。令和5年度人吉球磨広域行政組合一般会計繰越明許繰越計算書の報告について、理事會代表理事から提案理由の説明を受け質疑を行った。

公立多良木病院企業団議会報告

○3月4日（月）

令和6年第1回定例会が開催され、4名の議員による一般質問の後に議案7件が上程され、全議案とも全会一致で可決された。令和6年度当初予算については、1日平均入院患者数145人や外来患者数410人などを目標として、損益3,987万5千

円の純利益を見込んだ予算編成となっている。

○6月6日（木）

第2回臨時会が開催され、議長選挙で水上村の荒嶽晋議員が選任された。今後のウイズコロナ社会においても、医療スタッフの確保による診療体制の維持拡充という大きな課題に対処しつつ、地域の中核的医療機関としての役割を果たし続けて頂くことを期待したい。

上球磨消防組合議会報告

○5月13日（月）

令和6年第1回臨時会が開催され、あさぎり町議会議員改選に伴い、空席になっていた副議長に指名推薦により橋本誠議員が選任された。また報告2件、議案1件を全会一致で原案可決した。



日頃の救出訓練の様子



総会の様子



参加者で集合写真

◆ 中部ふるさと会総会

5月25～26日、名古屋市で開催されたあさぎり町中部ふるさと会の役員会との交流会及び総会と懇親会に参加してきました。80名を超える参加者で、交流を深めておられました。（小松 英一）

議員活動報告

月 日	行 事 名	参 加 者	
4 月	4月 1 日	議員懇談会・全員協議会	全員
	4月 7 日	あさざり町消防団入退団式（須恵小グラウンド）	議長・議員
	4月 9 日	あさざり中学校入学式（あさざり中）	議長・議員
	4月 11 日	郡定例議長会（球磨地域振興局）	議長
	4月 21 日	あさざり町議会議員選挙（無投票）	
	4月 26 日	農事組合法人「須恵かちやあ」設立総会（須恵文化ホール）	議長
	4月 27 日	令和 5 年度あさざり町文化協会総会（春日会館）	議長
5 月	5月 1 日	議員懇談会	全員
	5月 9 日	議員懇談会、第 1 回会議、各種委員会	全員
	5月 16 日	九水連第 67 回定期総会（佐賀市） 郡定例議長会（球磨地域振興局）	副議長 議長
	5月 21 日～ 22 日	議長・副議長研修会（東京都）	正副議長
	5月 22 日	農事組合法人「須恵かちやあ」設立祝賀会（町内飲食店）	正副議長
	5月 23 日	上球磨正副議長会総会（多良木町）	正副議長
	5月 24 日	あさざり町商工会第 22 回通常総会（ポッポ一館）	議長
	5月 25 日	第二庁舎落成式	全員
	5月 25 日～ 26 日	中部ふるさと会（愛知県名古屋市）	議長・議員 2 名
	5月 27 日	令和 6 年度あさざり町防災会議（せきれい館）	議長
	5月 28 日	厚生文教常任委員会、総務建設経済常任委員会	全員
	5月 29 日	令和 6 年度国道 219 号整備改良促進期成同盟会総会 （宮崎県西都市）	議長
6 月	6月 3 日	議員懇談会・全員協議会	全員
	6月 4 日	議会運営委員会	議会運営委員 正副議長
	6月 5 日	令和 5 年度あさざり町認定農業者協議会総代会（町内飲食店）	議長
	6月 10 日	国道 445 号期成会監査（議長室）	議長
	6月 11,12,14 日	全員協議会、6 月定例会	全員
	6月 14 日	議会運営委員会 全員協議会、公共施設マネジメント調査特別委員会 地方自治の未来を創る調査特別委員会、広報調査特別委員会	全員
	6月 16 日	第 32 回球磨郡消防ポンプ操法大会（須恵文化ホール）	議長
	6月 24 日	令和 6 年度主要地方道坂本人吉線改良貫通促進期成会総会 （山江村）	議長
7 月	7月 1 日	議員懇談会・全員協議会 議会運営委員会 総務建設経済常任委員会、広報調査特別委員会	全員
	7月 5 日	令和 6 年度県庁職員会（熊本市）	議長
	7月 10 日	令和 6 年度合同期成会定期総会（人吉市） 広報調査特別委員会	議長 広報調査特別委員
	7月 11 日	鹿児島県南九州市視察受入 郡定例議長会（あさざり町役場第二庁舎）	議長
	7月 12 日	宮崎県五ヶ瀬町議会視察受入 議会運営委員会	議長 正副議長・議会運営委員
	7月 18 日	全員協議会、第 3 回会議 議会運営委員会	全員
	7月 22 日	地方自治の未来を創る調査特別委員会 厚生文教常任委員会	厚生文教常任委員
	7月 23 日	常任委員長・議会運営委員長研修会（オンライン） 議会運営委員会	各常任委員長 議会運営委員 正副議長
	7月 24 日	多良木町議会視察受入	議長
	7月 29 日	広報調査特別委員会	正副委員長
	7月 31 日	上球磨正副議長会（湯前町）	正副議長

町民の声

聞かせて

このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いいたします。

町内の方に寄稿していただきました

保護司会活動について思う

岡原 開壘 ^{つるだ}鶴田 ^{まさくに}正國さん (保護司)

私のところに最初にきた話は、「保護司になってくれませんか」という話でした。

保護司は、ただいてくれて、研修会等に参加するだけで良いからでした。保護司になるなんて考えたこともなかったし、保護司になりませんかなんて話が、自分に来るなんて思ってもいなくて、びっくりしました。

保護司さんなんて、神様みたいな存在ですよ。研ぎすまされた、なんの邪念もない人たち。ボランティアで活動しているという時点ですごいと思います。

保護司の活動は、つらいことだって楽しいことだってあると思いますが、どんなところに魅力を感じているか、自分のためなのか、それとも人のためだけなのか、やっていてよかったと思うことやどこにやりがいを感じているかを知りたいですね。

ある地区で保護司さんが亡くなられ、当該保護司を殺害した保護観察対象者が逮捕されるという大変痛ましい事件が報道されています。ボランティアで活動している保護司です。

でも保護司のなり手が居なくて全保護司で適任者の確保に取り組んでいます。保護司セミナー制度がありますので私たちと保護司をやってみませんか。

連絡先 人吉保護司会事務局 38-3821



新しい議場で傍聴しませんか！

表紙写真のご紹介

田植えのお手伝いをしている孫娘です。「これがお米になるんだね!」と話しながら、じいちゃんのお手伝いをしています。



Photo かつみっちゃん

編集後記



5月25日に第二庁舎落成式が行われ、6月11日から、第2回会議(6月定例会)が新しい議場で初開催となりました。執行部と議員との距離も近くなり、今まで以上の緊張感を感じたところでした。一般質問では新人議員の2人も質問に立ち、活発な質疑が行われました。

傍聴席も広くなり、目線も低く質疑内容も聞きやすくなっていますので、是非、町民の皆さんには議場へ足を運んでいただければと思います。

(橋本 誠)



編集発行者
議長 小見田 和行
広報調査特別委員会
委員長 橋本 誠
副委員長 岩本 恭典

小松 英一
加藤 弘
小谷 節雄
皆越 てる子

★お願い★
『議会広報』の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。『議会広報』に掲載することがあります。ご理解とご協力をお願いします。

発行/あさぎり町議会 編集/議会広報調査特別委員会
〒868-0408 熊本県球磨郡あさぎり町免田東1199番地
TEL (0966) 47-0312
E-mail syoki-gikai@asagiri.kumamoto.jp 印刷:(有)町田印刷